

三 勲 小 だ よ り

令和2年8月26日（水）



夏休みを終え、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。今年はなかなか自由に外出もできず、子どもたちにとっていつもとは違った夏休みだったことだと思います。しかし、きっと、家で自分の時間をどう過ごすかということを考え、好きなことに取り組んだり家のお手伝いをしたりして有意義な毎日を過ごしたのではないかと考えています。

さて、岡山市内においても7月以降新型コロナウイルス感染者が急増しており、学校生活でも、1学期に続き、感染症予防対策を行いながらの学校生活となります。併せて、連日の猛暑による熱中症への対策も講じていく必要があります。子どもたちが健康安全に過ごせるよう十分に留意していかなくてはならないと考えています。つきましては、新型コロナウイルス感染症及び熱中症についての学校での主な対策をお知らせします。これは、岡山市教育委員会の「新型コロナウイルス感染症予防のためのガイドライン」に基づいたもので、市内の小中学校が学校の実態に合わせて共通して取り組むことになっています。

<主な対策>

- 換気：エアコン使用中の換気は30分に1回以上、数分間窓を全開にする。
- マスクの着用：身体的距離が十分取れない時はマスクを着用させる。（普通教室内ではエアコン環境下にあること、また、身体的距離が十分取れるとは言えないことから、基本的にはマスクを着用させる。）熱中症などの健康被害が発生する可能性が高い場合、登下校に十分な距離が取れる場合、体育の授業や外遊び（暑さが厳しい時は行いません。）などでは自分の判断でマスクを外すようにさせるとともに、教職員も積極的に声かけをする。
- 消毒：教職員が机の天板や椅子の背もたれ、多くの人が手を触れる箇所の拭き掃除と消毒を行う。
- 手洗いの励行：登校後、体育の後や外遊びの後、給食の前後、掃除の後、トイレの後、みんなが使うものを触った後、咳やくしゃみ、鼻をかんだ後は必ず手洗いをするよう指導する。
- 学習活動
 - ・できるだけ個人の教材教具を使用し、児童同士の貸し借りはしないようにする。
 - ・器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の手洗いを丁寧にする。
 - ・話し合い活動やグループ活動を行う際は、短時間とする。
 - ・話し合い活動は必要最小限の音量で話すようにする。
 - ・体育においては、集合・整列する場面で密を避けるなどの工夫を講じる。密集したり接触したりする場面が多い活動は避ける。気温が高い日などは熱中症に注意する。
 - ・音楽において、合唱や管楽器演奏を行う場合は、身体の向きを工夫して、密集したり密接したりしないよう配慮する。
 - ・共同制作等の表現や鑑賞活動、調理実習などを行う場合は、児童同士が一定の距離を保ったり、密集したり接触したりしないような工夫と配慮を行う。
- 人権への配慮：子どもたち自らが新型コロナウイルスについての正しい認識の下、人を傷つけたり差別をしたりしないよう指導する。
- 教職員について、体調が悪い場合は出勤しないのはもちろんのこと、毎朝検温を行い、風邪症状の有無を確認して健康観察記録表に記入し、出勤時に管理職に提出する。

<お願い>

- 引き続き毎日の健康観察記録表への記入と提出をお願いします。
- 必ず清潔なマスクを着用させてください。登校時に外していても教室では基本的にはマスクを着用します。（登下校時など暑い時は人との距離を保って外してもよいことをご指導ください。）
- 十分な睡眠、バランスのよい食事、適度な運動、手洗い励行等も引き続きよろしくをお願いします。

